



Title	三阪佳弘教授 略歴・主要著作目録
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2024, 74(3-4), p. 555-558
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/99489
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

三阪佳弘教授 略歴

- 1960（昭和35）年10月 大阪府大阪市に生まれる
1979（昭和54）年 3月 大阪星光学院高等学校卒業
同 年 4月 大阪大学法学部法学科入学
1983（昭和58）年 3月 大阪大学法学部卒業
同 年 4月 大阪大学大学院法学研究科博士前期課程公法学専攻入学
1985（昭和60）年 3月 大阪大学大学院法学研究科博士前期課程修了
同 年 4月 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程公法学専攻入学
1989（平成元）年 3月 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得中退
同 年 4月 大阪大学法学部助手（1992年3月まで）
1992（平成4）年 4月 龍谷大学法学部助教授（2003年3月まで）
1996（平成8）年 9月 龍谷大学国外研究員（1997年9月まで）：フランス国破壊院検事局検事 Pierre LYON-CAEN の下での国外研究
2003（平成15）年 4月 龍谷大学法学部教授（2004年3月まで）
2004（平成16）年 4月 大阪大学大学院高等司法研究科教授（2024年3月まで）
同 年11月 日弁連法務研究財団法科大学院認証評議員（2010年11月まで）
2014（平成26）年 4月 大阪大学大学院高等司法研究科長、大阪大学教育研究評議員（2016年3月まで）
2015（平成27）年 3月 博士（法学）（大阪大学）取得
2016（平成28）年 3月 大阪府労働委員会第43・44・45期公益委員（2022年2月まで）
同 年 6月 大阪大学総長特命補佐（2018年3月まで）
同 年 8月 大阪市立大学大学院法学研究科法曹養成専攻・外部評議員（2017年3月まで）
同 年 9月 大阪府公文書館運営懇談会委員（2020年8月まで）
2017（平成29）年 8月 大阪大学適塾記念センター長（2023年3月まで）
同 年10月 日本学術会議連携会員（2023年9月まで）
2018（平成30）年 5月 法制史学会理事（2020年4月まで）
2022（令和4）年 5月 大阪府民共済生活協同組合非常勤理事（2024年4月まで）
2024（令和6）年 3月 大阪大学定年退職
同 年 4月 大阪大学名誉教授
広島修道大学法学部教授（現在に至る）

主要著作目録

I 著書

『日本近代法120講』（分担執筆）法律文化社	1992年
『日本近代法論』（分担執筆）法律文化社	1994年
『堺市制百年史』（分担執筆）堺市	1996年
『新・日本近代法論』（分担執筆）法律文化社	2002年
『日本近代法案内 ようこそ史料の森へ』（分担執筆）法律文化社	2003年
『日本近代法制史研究の現状と課題』（分担執筆）弘文堂	2003年
『日本の裁判所—司法行政の歴史的研究』（分担執筆）晃洋書房	2004年
『新現代民事訴訟法入門』（分担執筆）法律文化社	2005年
『近代日本における社会変動と法』（共著）晃洋書房	2006年
『里山学のすすめ＜文化としての自然＞再生に向けて』（分担執筆）昭和堂	2007年
『平和の探求 暴力のない世界をめざして』（分担執筆）解放出版社	2008年
『日本弁護士協会録事 明治編（別巻）』（共著）ゆまに書房	2008年
『日本現代法史論——近代から現代へ』（分担執筆）法律文化社	2010年
『講座明治維新5 立憲制と帝国への道』（分担執筆）有志舎	2012年
『近代日本の司法省と裁判官——19世紀日仏比較の視点から』（単著）大阪大学出版会	2014年
『社会変革と社会科学——時代と対峙する思想と実践』（分担執筆）昭和堂	2017年
『日本型法治主義を超えて』（分担執筆）大阪大学出版会	2018年
『「前段の司法」とその扱い手をめぐる比較法史研究』（編著）大阪大学出版会	2019年
『裁判と自治の法社会史』（分担執筆）晃洋書房	2020年
『アーカイブズとアーキビスト——記録を守り伝える扱い手たち』（分担執筆）大阪大学出版会	2021年
『民主主義の深化と真価——思想・実践・法』（分担執筆）文理閣	2024年
『近代日本地方自治立法資料集成 2 [明治中期編]』（共編）弘文堂	1994年
『近代日本地方自治立法資料集成 3 [明治後期編]』（共編）弘文堂	1995年
『近代日本地方自治立法資料集成 4 [大正期編]』（共編）弘文堂	1996年
『近代日本地方自治立法資料集成 5 [昭和戦前期編]』（共編）弘文堂	1998年
『日本弁護士協会録事 明治篇（全31巻）』（共同監修）ゆまに書房	2004・06・08年

三阪佳弘教授 略歴・主要著作目録

『新版 角川日本史辞典』（項目執筆）角川書店	1996年
『明治時代史大辞典』第1巻（項目執筆）吉川弘文館	2011年
『明治時代史大辞典』第2巻（項目執筆）吉川弘文館	2012年
『明治時代史大辞典』第3巻（項目執筆）吉川弘文館	2013年

II 論説

「明治前期における行政事件取扱制度の一考察——明治10（1877）年起草行政処分願訴規則案を題材に」	『阪大法学』139号	1986年
「明治9・10年の裁判所機構改革」	『法制史研究』38号	1989年
「明治30年代初頭における裁判所・裁判官統制強化論の法史的意義」	『阪大法学』40巻1号	1990年
「資料・治安維持法違反事件被告三田村四郎予審訊問調書（3）——治安維持法事件における予審の諸問題1」（共著）	『阪大法学』40巻2号	1990年
「資料・治安維持法違反事件被告三田村四郎予審訊問調書（4）——治安維持法事件における予審の諸問題2」（共著）	『阪大法学』41巻1号	1991年
「資料・治安維持法違反事件被告三田村四郎予審訊問調書（5・完）——治安維持法事件における予審の諸問題3」（共著）	『阪大法学』41巻4号	1992年
「昭和初期の大審院長権限拡大論について——近代日本における司法官僚制と裁判官」	『阪大法学』42巻2・3号	1992年
「ポストモダンか近代法の再生か？」（共著）	『法の科学』22号	1994年
「近代日本の司法省と裁判官（1）」	『龍谷法学』29巻1号	1996年
「フランス第三共和政初頭における司法改革（1）——1883年8月30日司法組織改革法の成立と司法官追放」	『龍谷法学』33巻2号	2000年
「フランス第三共和政初頭における司法改革（2）——1883年8月30日司法組織改革法の成立と司法官追放」	『龍谷法学』34巻1号	2001年
「フランス」（共著）『ヨーロッパの司法統計I（フランス・イギリス）』	『東京大学社会科学研究所リサーチシリーズ』38号	2010年

「近代日本の地域社会と弁護士——1900年代の滋賀県域を題材として」	『法と政治』62卷1号	2011年
「明治末・大正期京滋地域における弁護士と非弁護士——続・近代日本の地域社会と弁護士」	『阪大法学』63卷2号	2013年
「明治前期民事判決原本にあらわれた代人——1877—90年の京滋阪地域の代人の事例」	『阪大法学』63卷3・4号	2013年
「日本における『法学部』の歴史的展開」	『法の科学』47号	2016年

III 資料紹介、書評

「(資料紹介)「丹後田辺藩裁判資料(1)」(共著)」	『同志社法学』194号	1986年
「(資料紹介)「丹後田辺藩裁判資料(5)」(共著)」	『同志社法学』201号	1988年
「(書評)毛利敏彦『江藤新平—急進的改革者の悲劇—』」	『法制史研究』38号	1989年
「(書評)菊山正明「江藤新平の司法改革構想と司法省の創設」」	『法制史研究』39号	1990年
「(資料)治安維持法違反事件被告三田村四朗予審訊問調書(1)」(共編)」	『阪大法学』39卷3・4号	1990年
「(資料)治安維持法違反事件被告三田村四朗予審訊問調書(2)」(共編)」	『阪大法学』40卷1号	1990年
「(書評)矢野達雄・加藤高・居石正和・紺谷浩司・増田修「裁判所所蔵文書から見た戦前期司法の諸相」」	『法制史研究』62号	2013年
「(書評)Flaherty著・浅古弘監訳『近代法の形成と実践—19世紀日本における在野法曹の世界』」	『法制史研究』70号	2021年
「(書評と紹介)大庭裕介著『司法省と近代国家の形成』」	『日本歴史』879号	2021年
「(資料)明治前期民事判決原本における代人の活動事例——京滋阪地域の事例」	『阪大法学』71卷5号	2022年